

教職員による自己評価

(評価 [1:よくあてはまる 2:ややあてはまる 3:あまりあてはまらない 4:まったくあてはまらない] 肯定率1+2の割合の合計)

分類	評価の観点	No.	評価項目	設 問	2026年		2025年		取り組みと課題
					肯定率	評価	肯定率	評価	
学校運営	私学の独自性	1	教育目標	私は、本校の教育理念や目標、将来ビジョンを理解し、教育活動にあっている	97%	1-6% 2-34% 3-2% 4-0%	98%	1-59% 2-39% 3-2% 4-0%	教員間で教育理念・目標を共有しながら、教育活動を実践できている。昨年に比べると教育方針や目標が、教職員、生徒、保護者に浸透するようになってきていることは、素直に評価できる。教員が本校の教育方針をもとに、それぞれのコース・学年で独自の教育を展開していった成果を、生徒・保護者に確実に伝えていく努力を継続していきたい。また教育方針・目標にそった教育実践ができているのかについては、常にPDCAサイクルを意識しながら評価・点検しなければならない。
学校運営	私学の独自性	2	教育方針・目標	本校では、教育方針・目標が教職員、生徒、保護者に浸透している	85%↑	1-17% 2-68% 3-15% 4-2%	75%	1-22% 2-53% 3-23% 4-2%	教員が一人一人の生徒に寄り添った指導ができているのか常に意識しながら、集会や学校行事等の機会を活用して、愛校心の醸成を図ってきたい。
学校運営	私学の独自性	3	愛校心	本校の在校生・卒業生は、学校に誇りを持っている	82%↑	1-20% 2-62% 3-17% 4-1%	74%	1-17% 2-57% 3-24% 4-2%	教育課程を学習指導要領の趣旨や私学の独自性も踏まえながら、適切に編成することができている。コースごとの特性にあった教育課程となっているのかについては、不断に点検し、改善を図る必要がある。
学校運営	教育課程	4	コンプライアンス	本校は、教育課程は学習指導要領に沿って作成されるなど、関係法令を遵守している	93%↑	1-48% 2-45% 3-7% 4-0%	86%↓	1-43% 2-43% 3-14% 4-0%	年間行事計画にしたがって教育活動を進めることができている。年間計画に入っていない行事を立案・実施する場合には、教員間のコンセンサスを十分にとってから進めることを徹底しなければならない。
学校運営	教育課程	5	年間行事計画	本校では、年間行事計画にしたがって、教育活動が行われている	99%↑	1-73% 2-21% 3-5% 4-0%	94%	1-66% 2-28% 3-5% 4-1%	各種会議を計画的・定期的開催するだけでなく、ここ数年間の反省をもとに、Slack等を通じて議題の事前共有を進めた結果、会議の有効性に関わる肯定率がさらに上昇した。教員間の連携について、学外評価委員からは「教員の自己評価の中で「教員間の連携」についての評価がかなり低い。また昨年度よりそのポイントが下がっていることか気になる」と指摘を受けている。昨年度導入されたSlackを有効活用しながら、対面での意思疎通も欠かさずことなく、学年間のさらなる情報共有に努めたい。
学校運営	教員の連携	6	会議の有効性	本校では、各種会議(職員会議・学年・分掌・教科会議など)は、情報交換と課題検討の場として有効に機能している	81%	1-42% 2-49% 3-12% 4-7%	79%↑	1-32% 2-47% 3-17% 4-5%	ICT委員会を中心に、クラウドを活用した業務の引き継ぎのほか、業務の効率化を進めているが、これらを活用できていない教員もいる。多様な研修の機会を設けて課題の解決を図りたい。
学校運営	教員の連携	7	教員間の連携	本校では、教員間の年度ごと担当ごとの適切な引継ぎがなされ、相互理解や信頼関係のもと、教育活動が行われている	64%	1-13% 2-51% 3-30% 4-5%	68%	1-20% 2-48% 3-20% 4-11%	広報部の各担当者によりホームページだけでなく、公式インスタグラムを通じて広報効果の高い情報を公開する体制を強化した。また少人数制の見学会を効果的に開催したほか、高校ではオープンスクールの回数を増やすなど、中高とも志願者のニーズにあった説明会や見学会などを計画することができた。次年度は、特に中学校のSAコース、高校のSコースの入学につながる広報活動が展開できるよう、広報活動にも創意工夫を重ねたい。
学校運営	教員の連携	8	教員と事務職員の連携	本校では、教員と事務職員の相互理解と連携がとれており、必要な情報交換が行われている	89%	1-38% 2-51% 3-11% 4-0%	89%↑	1-36% 2-53% 3-9% 4-1%	防火防災のための危機管理体制の整備をすすめ、本校の実態にあった避難訓練を実施することができた。昨年も書いたが、今後は防火防災以外の多様な危機を想定した防災教育を実施するだけでなく、生徒・教職員の安全確保を優先した危機管理体制を構築したい。
学校運営	情報公開	9	ホームページの活用	本校では、ホームページで可能な範囲の情報を公開する体制ができている	97%	1-54% 2-43% 3-4% 4-0%	93%	1-53% 2-40% 3-6% 4-1%	法令に基づき個人情報をおおむね適切に管理できているが、学校は多様な情報を扱う場であることを常に意識し、教育活動・広報活動を進めていかなければならない。
学校運営	情報公開	10	志願者への広報活動	本校は、志願者に対して教育活動を理解する機会を与えている	98%	1-61% 2-37% 3-2% 4-0%	94%	1-59% 2-35% 3-6% 4-0%	授業評価アンケートの結果もふまえつつ、教員が高い意識をもって授業規律の維持に取り組んだことが、結果として表れている。現在の学習指導要領にそってシラバスを作成し、シラバスに即した授業を展開することができているが、宿題や課題を通じての学習内容の定着がはかれないと回答する割合が昨年よりも増えていることは大きな課題である。生徒たちが自ら復習に取り組めるよう、AI教材の導入を進めるとともに、「新たなリソース」の活用を含めた放課後デザインタイムの整備を進めていきたい。
学校運営	危機管理	11	役割分担・対応	本校では、非常事態に対処する役割分担が明確で、周知されており、安全対策がとられている	82%↑	1-27% 2-55% 3-17% 4-1%	77%	1-22% 2-55% 3-19% 4-5%	ICT委員会を中心にChromebookやノートPCを使った授業等の研究がいつそう進み、対話的で深い学びを意識した双方向の授業が数多く展開されているが、ICT機器を活用した授業改善に努めている教員の数は大きく減少している。他校の実践例なども参考に、DXハイスクールの予算を使って導入したICT機器に関する研修体制を整備する必要がある。
学校運営	情報管理	12	個人情報	本校では、個人情報の管理について配慮がなされている	90%	1-39% 2-51% 3-10% 4-0%	87%	1-39% 2-48% 3-11% 4-2%	習熟度別の補習を取り入れながら、生徒の学習状況の改善を図った。生徒一人一人のニーズにあった個別指導の取り組みを、継続的に進めていかなければならない。
教育活動	学習指導	13	授業規律	私は、授業規律の改善に努めている	99%	1-65% 2-34% 3-0% 4-1%	99%	1-64% 2-35% 3-1% 4-0%	進路の諸調査だけでなく、学年・担任は面談等の機会を通じて生徒一人一人の学習状況や進路希望を把握できている。またそれぞれのコースの実態をふまえた形で、効果的に進路説明会等を開催したり、大学のオープンキャンパスの活用を促すことで、生徒たちは進路選択に向けた情報をつかむことができた。
教育活動	学習指導	14	教科指導	私は、指導計画に沿った学習計画を生徒に示し、ほぼそれに沿った進捗で教科指導ができている	96%	1-48% 2-48% 3-4% 4-1%	96%	1-47% 2-49% 3-5% 4-0%	進路指導部を中心に継承されてきた総合型・学校推薦型入試のノウハウを教員が共有し、またそれぞれの進路目標にあった補習や自学自習の取り組みを計画的に進めたことが、特に高校Sコースの進路実績につながった。今後は生徒ニーズに応じた幅広い進路を実現するため、また難関大学への合格者のさらなる増加をめざし、補習に加えて、外部人材など新たなリソースの活用も図りながら、放課後デザインタイムや不定期に実施している校内予備校などの取り組みを強化し、参加者を増やしていく必要がある。
教育活動	学習指導	15	家庭学習	私は、宿題や課題を適切に出すなどして、生徒の家庭での学習(予習・復習)習慣の定着をはかっている	89%	1-44% 2-45% 3-10% 4-1%	90%	1-34% 2-56% 3-9% 4-1%	問題行動を未然に防ぐため、生徒の人格に配慮しながら、校訓や生徒指導の三訓示にもとづく日常生活指導の徹底を図ることができおり、生徒の規範意識やマナーに対する意識も高まっている。そのなかでも生徒指導に因るケースが散見されたことが、昨年より少し評価が厳しくなったことに表れている。今後は、生徒指導の研修を重ねながら、よりよい生徒指導を心がけたい。
教育活動	学習指導	16	ICT活用	私は、ICTを活用して、生徒が興味を持ち、授業内容の理解を深めるなど授業が効果的に行えるよう工夫している	82%↓	1-33% 2-49% 3-16% 4-2%	89%↑	1-36% 2-53% 3-10% 4-0%	すべての学年で情報モラル講座を開催し、情報倫理の育成に努めた。またネット上のトラブルを未然に防止するため、外部機関と連携しながら生徒指導をすすめ、問題行動やトラブルが発覚した場合も、迅速に対応できている。ただ問題行動が発生した場合の対応について、学年内や、学年と生徒指導部との情報共有ができていない場面もみられる。教員相互の連携を強めるなかで、問題行動が発生した場合に迅速な指導が行えるような体制整備を図ってきたい。
教育活動	学習指導	17	学習フォロー	私は、到達度の低い生徒に対する学習フォローに努め、意欲や関心を高める等、生徒の学習状況の改善に努めている	94%	1-39% 2-55% 3-5% 4-1%	94%	1-31% 2-63% 3-6% 4-1%	
教育活動	進路指導	18	生徒理解と保護者との連携	私は、生徒の学習状況・課題や進路目標を把握するとともに、生徒の状況について保護者と共通認識をもっている	95%↑	1-41% 2-54% 3-5% 4-0%	88%	1-41% 2-47% 3-13% 4-0%	
教育活動	進路指導	19	進路情報の蓄積と活用	本校では、生徒が適性に応じて進路選択できるように、必要な情報を提供したり、大学との交流などを行っている	97%	1-46% 2-51% 3-2% 4-0%	96%↑	1-48% 2-48% 3-5% 4-0%	
教育活動	進路指導	20	キャリア教育	本校では、将来の職業についても興味関心を持てるように、学年に応じたキャリア教育を行っている	91%	1-43% 2-48% 3-9% 4-1%	89%	1-49% 2-40% 3-10% 4-1%	
教育活動	進路指導	21	個別指導	本校では、生徒の成績情報の蓄積と学習課題の分析に努め、それぞれの生徒に応じた適切な進路指導を行っている	94%	1-44% 2-50% 3-6% 4-0%	91%	1-42% 2-49% 3-9% 4-0%	
教育活動	生徒指導	22	指導方針の一貫性	私は、本校の生活指導の基本方針を理解し、生徒の人格をも尊重しつつ生徒指導にあっている	97%	1-59% 2-38% 3-2% 4-1%	100%	1-56% 2-44% 3-0% 4-0%	
教育活動	生徒指導	23	家庭との連携指導	私は、生徒指導にあたっては、常に家庭と綿密な連絡を取り、その指導にあっている	96%	1-56% 2-40% 3-4% 4-0%	100%↑	1-56% 2-44% 3-0% 4-0%	
教育活動	生徒指導	24	問題行動の防止・服装指導	私は、問題行動を未然に防ぐ教育や、服装・頭髪指導を適切に行い、快適な学習環境と規律ある校風の確立に努めている	95%	1-56% 2-39% 3-5% 4-0%	98%	1-55% 2-43% 3-2% 4-0%	
教育活動	生徒指導	25	挨拶・マナー指導	私は、生徒に挨拶の大切さを教え、基本的な生活習慣の定着とマナーの向上に積極的に努めている	100%	1-57% 2-43% 3-0% 4-0%	99%	1-60% 2-39% 3-1% 4-0%	

分類	評価の観点	No.	評価項目	設問	2026年		2025年		取り組みと課題
					肯定率	評価	肯定率	評価	
教育活動	国際理解教育	26	国際理解教育への取り組み	本校では、グローバル化に対応した教育や行事を実践している	85%	1-35% 2-50% 3-15% 4- 0%	85%↑	1-38% 2-47% 3-16% 4- 0%	全学年を対象とした希望制の海外語学研修をイギリス・カナダまで広げて計画し、実施することができた。次年度は東アジアからの留学生の受け入れが本格化するなかで、どのように校内のグローバル化を進めていくのかが大きな課題となる。
教育活動	人権教育	27	人権教育への取り組み	本校では、いじめ、人権侵害や差別意識の助長を許さない教育が行われ、生徒の人格が尊重されている	97%	1-49% 2-48% 3- 2% 4- 1%	93%	1-42% 2-51% 3- 6% 4- 1%	学校における多様性の確保をめざし、生徒の人権を重んじながら、校則や校内ルールの見直しを進めた。また法人主催で、教員対象にいじめについての研修を実施し、一人一人の人権を尊重した学校づくりに努めている。
教育活動	防災教育	28	防災・安全意識	本校では、避難訓練をおこなうなどして、生徒・教職員の防災・安全意識を高めている	96%	1-56% 2-40% 3- 4% 4- 0%	94%	1-45% 2-49% 3- 6% 4- 0%	年2回の避難訓練を実施し、防災意識の向上を図った。また中学校生徒会が中心となって能登半島地震でボランティア活動を行うなど、生徒たちの間にも共助意識の高まりがみられる。
教育活動	健康教育	29	心のケア	本校では、不登校生の生徒や生徒の抱える心理的問題に対して、その実情をつかみ必要な対応がなされている	96%↑	1-51% 2-45% 3- 4% 4- 0%	84%↓	1-33% 2-51% 3-15% 4- 1%	学校カウンセラーと連携を図りながら、生徒の抱える心理的問題の解決に向けて、学校全体で取り組むことができており、不登校生に対しても合理的配慮をしっかりと行いつつ、適切に対応することができている。今後は多様な生徒に対応できるように、カウンセリング研修を充実させるとともに、教務内規の改訂を進め、進級規定の弾力化を図ってきたい。
教育活動	健康教育	30	保健・健康指導	本校では、生徒の健康状態を把握し、必要な健康指導をおこなうなど、生徒が健全な学校生活が送れるよう努めている	94%	1-51% 2-43% 3- 6% 4- 0%	94%	1-43% 2-51% 3- 6% 4- 0%	
教育活動	特別活動	31	生徒会活動支援状況	本校では、生徒会活動が生徒の主体的活動として発展するよう支援している	94%	1-49% 2-45% 3- 6% 4- 0%	91%↑	1-30% 2-61% 3- 8% 4- 1%	文化祭・体育祭などの行事を、中高ともに生徒会を中心に、生徒主体で運営することができている。本年は計画段階から、教員の指導のもと生徒主体で進めることができるよう準備し、生徒は大きな達成感をえることができた。今後も生徒が主体性を発揮でき、かつ学びのある行事の実現をめざしていきたい。
教育活動	特別活動	32	クラブ活動支援状況	本校では、クラブ活動の役割を重視し、生徒が参加・活動できるように努め、学校で決めたガイドラインに沿って活動している	94%↑	1-50% 2-44% 3- 6% 4- 0%	89%	1-41% 2-48% 3- 9% 4- 2%	本年は野球部の全国高校野球選手権大会・選抜高校野球大会出場をはじめ、多くのクラブ活動が全国大会に出場し、地域活性化が文部科学大臣賞を受賞するなど、大きな成果を取った。活動の際のガイドラインについては、部活動のあり方等検討委員会が設定し、その基準に沿って、多くのクラブはしっかりと活動できている。
教育活動	特別活動	33	学校行事	本校では、それぞれの学校行事を年間教育計画の中に位置づけ、生徒が積極的に参加できるように指導している。	96%↑	1-50% 2-46% 3- 1% 4- 2%	91%	1-43% 2-48% 3- 8% 4- 1%	本年度、中学校生徒会が中心となって実施した能登半島でのボランティア活動や書写養護学校との交流会など、観望の華貴に体现される「利他の心」の精神を活かした社会貢献活動のいっそうの拡充に努めたい。
教育活動	特別活動	34	考える学びと社会貢献	本校では、「考えるを、学ぶ。」学校として工夫された行事を通して、社会に貢献できる人材の育成につとめている。	91%↑	1-35% 2-56% 3- 6% 4- 2%	78%↓	1-38% 2-40% 3-20% 4- 2%	
その他	教員研修	35	授業改善	私は、教員同士の授業相互見学に参加するなど、授業力アップに積極的に努めている。	67%↓	1-26% 2-41% 3-28% 4- 5%	80%	1-27% 2-53% 3-18% 4- 1%	定期的に研究授業を実施したり、オンラインでの教員研修を進めることで、教員個々の授業力の向上を図ったが、自己評価の結果からは、それらが授業力のアップにつながったとはいえない。教員の研修時間をいかに確保するのか、そのために時間割編成等で工夫ができないか、次年度はしっかりと研究していきたい。また若手教員のOJT拡充を目的にオンライン研修を義務づけ、レポート作成によって研修成果の定着を図ってきたい。
その他	教員研修	36	校内研修	本校では、校内研修やそれぞれの場面でのOJT(On the job training)を実施し、教育力向上に努めている。	68%	1-23% 2-45% 3-27% 4- 5%	72%	1-20% 2-52% 3-24% 4- 3%	
その他	保護者との連携	37	育友会活動	本校では、育友会活動が盛んで、保護者の学校教育への理解と協力が進んでいる。	79%	1-24% 2-55% 3-20% 4- 1%	76%	1-25% 2-51% 3-22% 4- 2%	中高ともに育友会行事を活発におこなうことができた。特に秋の育友会主催の一日研修旅行には、多くの参加者を集めることができ、充実した研修となった。また育友会役員を中心に、育友会全体で教育活動に十分な協力をいただくことができた。
その他	保護者との連携	38	保護者への公開	本校では、保護者などへの授業や行事が公開されている。	98%	1-72% 2-26% 3- 1% 4- 1%	97%	1-63% 2-34% 3- 3% 4- 0%	本年度は学年ごとに定期的に授業公開日を設け、多くの保護者が来校され、授業を見学していただいた。次年度も本年の実施状況の検証をふまえ、効果的に授業公開日を設定していきたい。
その他	設備施設	39	施設管理	本校では、施設設備については、日常的に点検・補修を行い、適切に管理している。	90%	1-50% 2-40% 3- 7% 4- 2%	90%	1-39% 2-51% 3- 7% 4- 3%	消防署の指導に沿った備品配置をおこない、また備品調査(棚卸し)を徹底するなど、法令をもとに施設設備の維持・管理を図った。また夏休み期間を利用してグラウンドの大規模改修工事を行い、より安全に体育の授業やクラブ活動を実施できる環境を整えた。
その他	設備施設	40	学習環境・美化	本校では、生徒に清掃、校内美化に取り組ませ、施設設備を大切にすることを養っている。	87%↑	1-33% 2-54% 3-12% 4- 1%	81%↑	1-31% 2-50% 3-18% 4- 1%	各クラスごとに教室美化が徹底されてきたことで、肯定率が大幅に向上した。今後も生徒による清掃活動を教育の一環に組み込み、施設設備を大切にすることを育成したい。